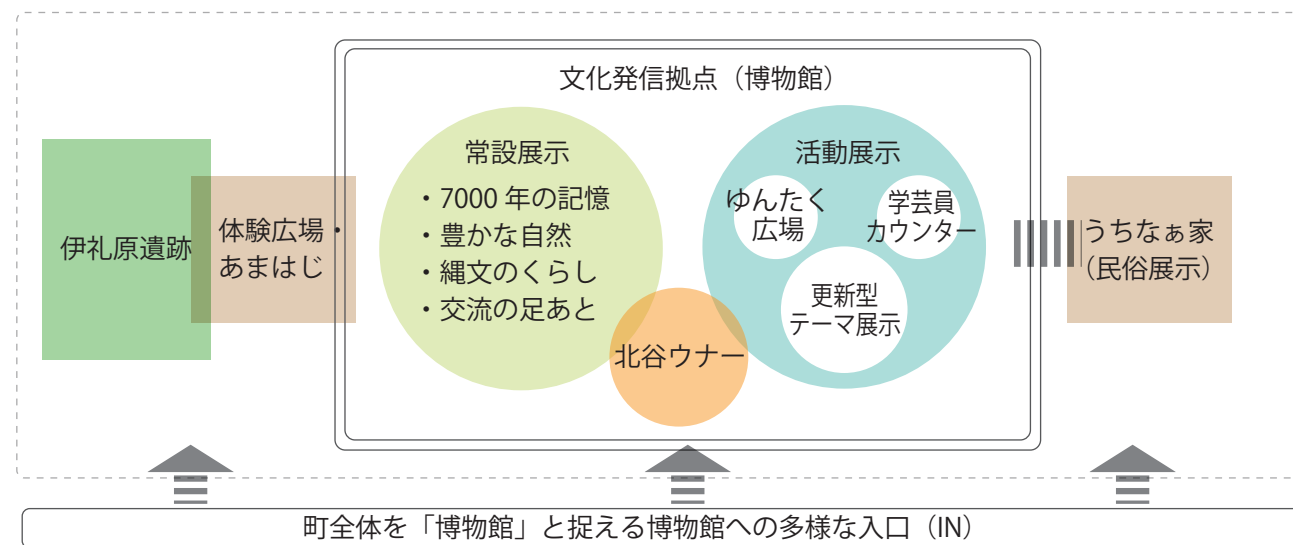
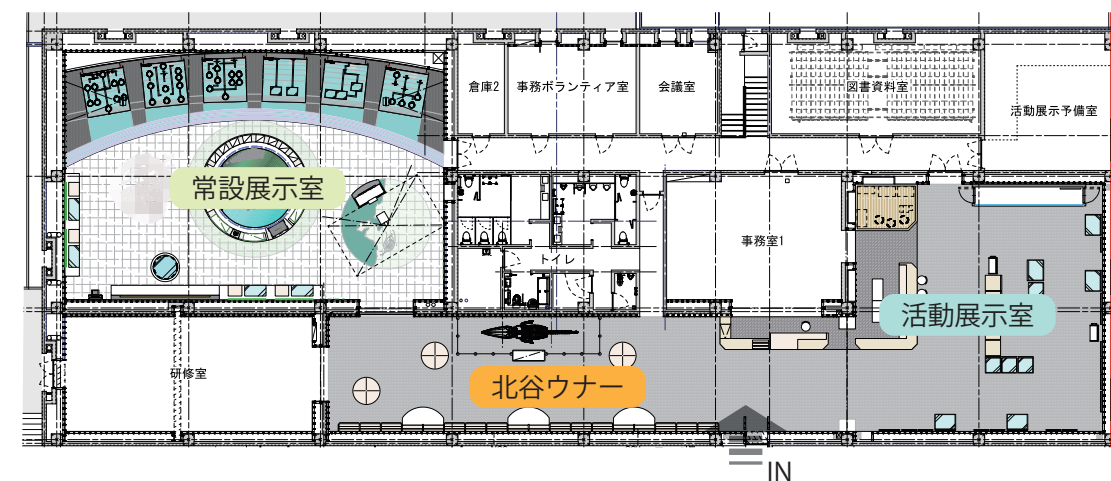


1. 全体構成



2. 平面図 (2F)

建物 2F 部分に展示・活動機能を集約。入ってすぐに交流の場「北谷ウナー」と様々な体験や展示を行う「活動展示室」をひとつながりに展開。奥側に「常設展示室」を設けます。



常設展示室

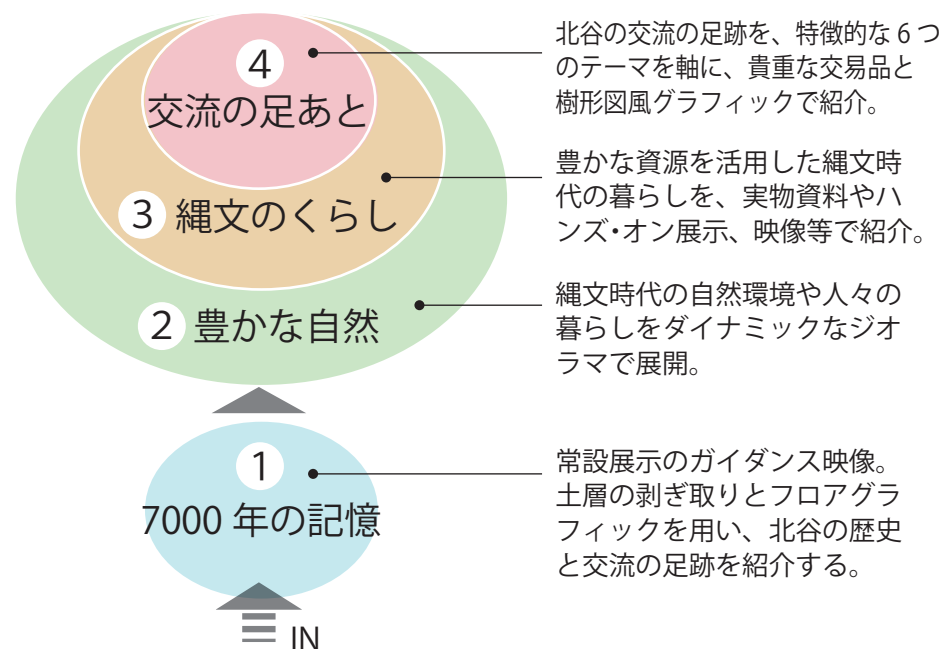
■展示テーマ

海を渡る交流

縄文時代の北谷町の自然環境や暮らしを、「交流」をキーワードに展開。特に、縄文時代から海を隔てた交流により多彩な文化、技術、知識がもたらされ、人々の暮らしに変化を与えたことを本町の特徴として紹介します。

■展示構成

4つのコーナーで構成。連綿と続く北谷町の豊かな自然を礎に、縄文時代における人々の営みや、本町の歴史を「交流」を切り口に紹介する「4 交流の足あと」を展示の目玉として展開します。



■空間イメージ



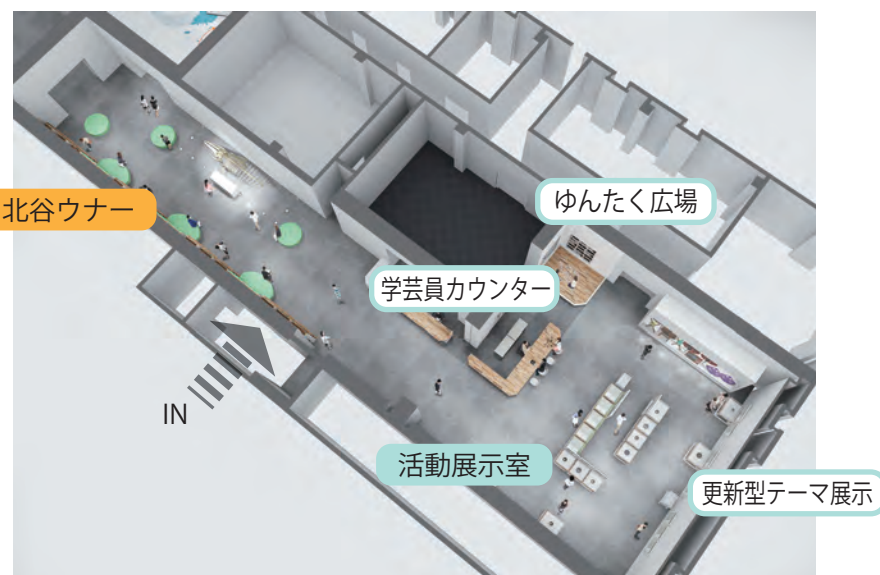
展示室の床・壁・天井を一体的に使い、空間全体での統一感や広がり表現します。縄文時代の自然環境を伝えるジオラマは各展示へと誘う基点として展示室中央に配置。そして、展示室奥側には北谷町の交流の歴史を総覧できる、ここならではの展示を壁面全体に展開します。





## 北谷ウナー・活動展示室

### ■空間イメージ



博物館入口より左側が北谷ウナーと常設展示室、右側が活動展示室という配置で、様々な活動に対応できるようにフレキシブル性の高い什器等で構成される、明るく開放的な空間です。

### 北谷ウナー

博物館の入口、そして町民や観光客の活動・交流の拠点となる空間です。  
北谷町の歴史・文化・自然に関する書籍も配架し、町民への情報発信や学びの支援、日常利用を促します。  
様々な用途に合わせて多目的に利活用できるよう、可動什器等で構成するフレキシブル性が特徴です。

全国的にも珍しいクジラの骨格標本を、関連資料とともに展示

子どもから大人まで気軽にくつろげるソファやツールを設置

書棚には書籍に関連した資料やパネル等も展示できる



### 活動展示室

町民参加・協働による展示や活動を行う場で、「更新型テーマ展示」「ゆんたく広場」「学芸員カウンター」で構成。  
規模の大きな展示やイベントの際には、北谷ウナーと一体的に空間を活用します。

#### 更新型テーマ展示

博物館の研究成果を定期的に展示替えをしながら紹介。年に2回程度の企画展を行うほか、町民参加・協働による展示づくりを行います。  
また、展示更新のしやすい什器やシステムを備えます。

#### ■展示テーマ例

北谷の自然	海や地形などの自然環境について紹介
国指定史跡・北谷城	発掘資料や最新の調査成果を展示
戦後のまちづくり	戦後復興と観光地としての発展の歴史を紹介
北谷の交流	インディアン・オーク号の漂着について紹介

#### ゆんたく広場

昭和の住居をイメージした小上がりステージでは、昔の生活道具を体験できます。町民からの資料提供により展示の充実を図ります。

#### 学芸員カウンター

学芸員への質問・相談や、キットを使って北谷町の歴史や文化を体験的に学べるコーナーです。

小上がりは昔の道具体験のほか、キッズスペースとしても機能

ウォールケースには、他館からの借用資料等を展示

ケースやパネルを脱着できる展示システム。内容に合わせて自由に組み合わせられる



学芸員カウンターでは年齢別・分野別に楽しめる体験キットを貸出。キットは町民とともに制作する